

飲酒運転の根絶に向けて

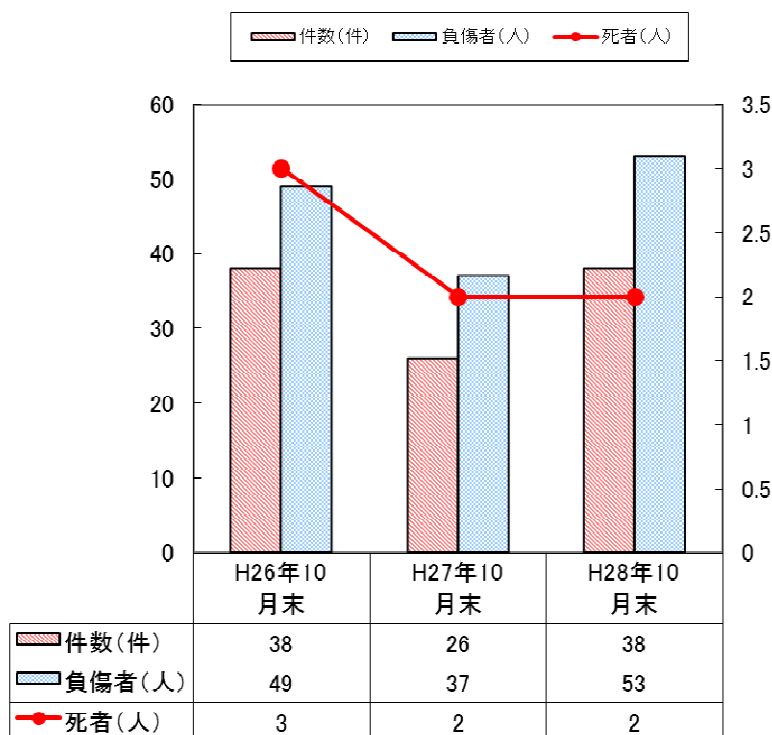
飲酒運転による交通事故は、近年全国的に減少傾向にあるものの、未だに飲酒運転が関係する悲惨な交通事故は後を絶たず、大きな社会問題となっています。

県内では今年1月から10月末までに、飲酒運転が関係する交通事故が38件発生して、53人の方がけがをされています。残念ながら2名の方が亡くされており、まだまだ「飲酒運転が関係する人身事故」は後を絶ちません。

飲酒運転は、重大な事故に直結するきわめて悪質・危険な行為です。

年末は、飲酒する機会が増えますが、**お酒を飲んだら絶対に車を運転してはいけません。**また、**自動車などを運転される方にお酒を勧めない、お酒を飲んだ人の車に同乗しない**など、一人ひとりが「**飲酒運転は絶対にしない、させない**」ことを徹底し、飲酒運転の根絶をはかりましょう。

飲酒運転による事故の推移



「ハンドルキーパー運動」に参加しましょう！

「自動車仲間と飲食店などへ行く場合に、お酒を飲まない人（ハンドルキーパー）を決め、その人が仲間を安全に自宅まで送り届ける。」という運動で、この運動が国民運動として定着することを目指し、運転者関係団体への参加や酒類を提供する店舗に対する協力の呼びかけをおこなっています。

10月から12月の夕暮れ時は交通事故が多発

- ◎ 歩行者は、夕暮れに外出するとき
反射材の活用と明るく目立つ色の服装
- ◎ 車の運転及び自転車乗車時は
“早め点灯 4時からライト”
を心がけましょう。